

平成27年度 習志野市防災会議 会議録

- 日 時:平成28年2月4日(木)午前10時00分から午前11時45分まで
- 場 所:習志野市消防本部庁舎 5階講堂
- 委員出席者:別添「委員及び出席者名簿」のとおり
- 事務局出席者:別添「委員及び出席者名簿」のとおり
- 議 事:(1)報告第1号 委員の変更について
 - (2)報告第2号 平成27年度に実施した各種防災対策について
 - (3)報告第3号 平成27年度に実施した各種防災訓練について
- (1)議案第1号 平成28年度習志野市総合防災訓練の実施方針(案)について
 - (2)議案第2号 習志野市地域防災計画の一部修正について

○会議録要旨:次のとおり

事務局(司会)	<p style="text-align: center;">1. 開会</p> <p>本日は、たいへんお忙しい中、平成27年度習志野市防災会議に御出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>定刻となりましたので、ただいまから、平成27年度習志野市防災会議を開催いたします。</p> <p>私は、本日の司会を務めます、習志野市危機管理課の高橋と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>まず、本会議の会長であります、習志野市長 宮本泰介より、一言、御挨拶を申し上げます。</p>
会長(市長)	<p style="text-align: center;">2. 会長あいさつ</p> <p>皆様、おはようございます。</p> <p>本日は、平成27年度習志野市防災会議に、公務等、御多忙の中、皆様にお集まりいただきました。</p> <p>特に、習志野市にいつも御協力いただいております関係団体の皆様、あるいは、他市、他県からいらしている皆様、本当にありがとうございます。</p> <p>昨年の9月につきましては、総合防災訓練におきまして、本当に皆様に多大なる御尽力をいただきまして、無事、終えることができました。</p> <p>これまでよりも一層に、防災に対する意識が醸成されましたし、また、習志野市全体の防災力も格段に飛躍したものと認識しております。心より、御礼を申し上げます。</p> <p>本市では、昨年から今日にかけて、大きな災害等はありませんでしたが、すぐ近隣の関東東北豪雨によりまして、鬼怒川の堤防決壊がありました。</p> <p>これは非常に衝撃的な映像ではありましたが、自衛隊あるいは消防、警察の皆様方のそれぞれの関わりによって、多くの人命が救出されている様子を見まして、改めてその存在の大きさを感じたひとときでもありまし</p>

	<p>た。</p> <p>当時、現場は大変混乱した状況ではあったものではないかと思いますが、いずれにしても、災害時の連携というものは、常に余念なく日頃からの情報連絡を密にしておくことで、しっかりと対応できるということもわかった一幕でもありました。</p> <p>この災害におきまして、被災された皆様には心からお見舞いを申し上げますとともに、また、このようなことが二度と起きないように、あるいは、起きたとしてもすぐに対処できるように、日頃から備えをしなければならないという誓いをたてた一瞬でもありました。</p> <p>年が明けまして、このお正月、非常に暖かな陽気でありましたが、一変いたしまして、昨今大雪ということもありました。</p> <p>幸いにも習志野市内では雪も降らずに今までできております。沖縄でも降ったのに、習志野ではほとんど雪は降らず、積もっておりません。</p> <p>このようなことに対し、幸せな思いを感じるとともに、やはり同じように、近隣で困難のあった事例をみまして、私たちもしっかり対応しなければならないと思った次第であります。</p> <p>これから先、3月までは雪に対しまして、油断ができないわけでありませう。昨年も雪のなかで電車がとまってしまうという事態もありました。</p> <p>そういうことについて、これから思いを馳せつつも、習志野市民の安全安心をしっかりと守っていくということの中で、また一層の結束を皆様の中ではかっただけければ幸いです。</p> <p>本日も、それぞれのお立場から忌憚のない活発な意見交換をしていただきまして、本市、あるいはそれぞれの関係諸団体の皆様の防災力の向上を祈念いたしまして、御挨拶に変えさせていただきます。</p>
事務局(司会)	<p>ありがとうございました。</p> <p>ここで、御手元に配布しております出席者名簿に訂正がございます。本日出席予定の、習志野郵便局の伊藤様が欠席となっております。</p> <p>それでは、これより先は、習志野市防災会議条例第3条第3項に基づき、本会議の会長であります、宮本市長に議事を進めていただきたいと存じます。</p> <p>宮本市長、よろしく願いいたします。</p>
会長(市長)	<p>それでは、習志野市防災会議条例に基づきまして、私が議長を務めさせていただきますので、よろしく願いいたします。</p> <p>議事に入ります前に、本市では、「習志野市審議会等の設置及び運営等に関する指針」の中で、この会議を公開としております。本日も傍聴希望者並びに報道関係者に対しまして、公開としておりますので、委員の皆様には予めご了承いただきますよう、よろしく願いいたします。</p> <p>なお、会議の概要につきましても、後日、市のホームページ等におきまして公開いたしますので、委員の皆様には、予め御了解をお願いいたします。</p> <p>それでは、議事に入ります。</p>

	<p>なお、危機管理監につきましては、委員ではございますが、事務局として回答することがございますから、通常の委員とは異なる席次となっていることにつきまして、予め御了解いただきますよう、お願いいたします。</p> <p>はじめに、報告第1号「委員の変更」について事務局より説明をお願いします。</p>
事務局(課長)	<p style="text-align: center;">3. 議事</p> <p style="text-align: center;">報告第1号【資料に基づき事務局より説明】</p> <p>危機管理課長の塚本です。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、会議資料の1ページをお開きください。</p> <p>報告第1号「委員の変更」について報告いたします。昨年の1月の会議以降に13名の方が、新しく委員になられていますので紹介いたします。</p> <p>(資料の1ページに基づき名簿を読み上げた)</p> <p>以上です。</p>
会長(市長)	<p>続きまして、報告第2号「平成27年度に実施した各種防災対策」について事務局より説明をお願いします。</p>
事務局(課長)	<p style="text-align: center;">報告第2号【資料に基づき事務局より説明】</p> <p>それでは、資料の2ページを御覧ください。</p> <p>報告第2号「平成27年度に実施した各種防災対策について」は、6つの対策を実施しています。順を追って、報告いたします。</p> <p>はじめに、1.「防災倉庫の新規設置」につきましては、災害発生時に、避難所生活で必要となる飲料水・食料などを速やかに供給支援できるよう設置を進めております。</p> <p>今年度は、避難所であります東部体育館に設置しました。このことにより、27箇所、全ての避難所に防災倉庫の設置が完了し、市内の防災倉庫の設置数は、30となりました。</p> <p>また、新庁舎建設に伴い、遺体安置所を、昨年度、市役所前体育館から袖ヶ浦体育館へ変更しています。この遺体安置所で必要となる、遺体収納袋・担架及び感染予防のための、ゴム手袋・マスク等を備蓄するため、倉庫を設置しております。</p> <p>次に、2.「防災行政無線の子局増設」につきましては、平成23年度に実施した音響調査結果を基に、現地調査を行い、今年度は、実籾4丁目44番にあります、実籾3号公園内に子局を1基増設しております。</p> <p>なお、昨年12月24日より、運用を開始しています。このことにより、子局の設置数は、48基となっております。</p> <p>次に、3.「防災行政無線のデジタル化に向けた動き」につきましては、2点報告があります。</p> <p>はじめに、なぜ、防災行政無線を現在使用している、アナログ方式からデジタル方式にしなければならないかにつきまして、説明いたします。</p> <p>まず、デジタル化への移行につきましては、国の方針として、平成17年8月に決定されております。</p>

国が、デジタル化を進める理由としましては、現在、利用しているアナログ式の防災行政無線及び消防無線を、デジタル化にすることにより、新たに利用できる周波数帯ができ、この周波数帯の有効活用を図るためデジタル化を進めています。

そこで、習志野市のデジタル化に向けた取り組みの1点目は、昨年4月に、計画的に事業を進めるために、最も重要である、「習志野市防災行政無線デジタル化整備計画」を策定しております。この計画では、基本的な整備方針、スケジュール等について、明確に示しています。

2点目の、「電波伝搬調査」の実施、及び「実施設計」の策定ですが、先程説明しました、整備計画に基づき、進めております。

なお「電波伝搬調査」の方法については、日本庁舎の屋上から、テスト用のデジタル電波を飛ばし、市内48箇所に設置されている子局で電波が受信できるかどうかを調査しています。

そして、デジタル化した場合のメリットとしては、親局と子局の双方向通信及びデータや画像の送受信などが可能になります。

なお、今後の工事予定ですが、来年度から着手し、平成33年度末には、全て移行が完了する計画予定となっております。

次に、4.「受水槽への給水栓設置」につきましては、災害時の飲料水を確保するため、避難所となる小・中学校の受水槽に給水栓設置工事を昨年度から進めております。今年度は、新たに8校に設置し、計18校に設置が完了しております。

このことにより、習志野市民、二日分の飲料水、約700トンが確保できたこととなります。

今後につきましては、残りの避難所であり、三つの公立高等学校、東部体育館の受水槽にも、給水栓を設置したいと考えております。

3ページを御覧ください。

5.「災害時応援協定等の締結」です。

大規模な災害発生時には、市の対応には限界があるため、災害時における応援協定を平時に結んでおくことは、非常に有効であり、防災対策の強化に繋がります。

今回は、記載のとおり、ゼンリン、東電タウンプランニング、習志野市アマチュア無線、セブンイレブンジャパンと既に、記載の内容で締結しており、年度内にヤマト運輸とも締結する予定となっております。

4ページを御覧ください。

最後に参考としまして、

(1)の自助・共助の活動の促進につきましては、記載のとおりとなっております。

(2)の災害配備状況につきましては、気象警報の発表による体制のほか、昨年9月18日、チリ地震により、東京湾内湾に発表された津波注意報でも情報収集体制をとっております。

なお、情報収集体制は、危機管理課職員で対応、警戒配備は、道路

	<p>冠水・倒木など、大きな被害の発生が予想される場合であり、災害対策本部設置前の体制であります。</p> <p>以上で、「平成 27 年度に実施した各種防災対策」についての報告を終わります。</p>
<p>会長(市長)</p>	<p>質問については、後ほど一括して受けたいと考えておりますので、次に報告第 3 号、「平成 27 年度に実施した各種防災訓練」について事務局より説明をお願いします。</p>
<p>事務局(課長)</p>	<p style="text-align: center;">報告第3号【資料に基づき事務局より説明】</p> <p>それでは、資料の 5 ページをご覧ください。</p> <p>報告第3号「平成 27 年度に実施した各種防災訓練について」報告いたします。</p> <p>はじめに、「平成 27 年度 習志野市総合防災訓練」について、報告いたします。</p> <p>まず、訓練目的ですが、2 つありました。</p> <p>1 つは、市・地域住民・関係機関との連携強化を図ること、もう 1 つは民生委員児童委員及び高齢者相談員の皆様による、災害時避難行動要支援者の安否確認を実際に行い、現行体制の検証を図ることの、2 点を目的に実施しております。</p> <p>開催日時につきましては、昨年の 9 月 27 日の日曜日、午前 9 時から正午まで行っており、会場につきましては、市内全避難所 27 箇所のうち、スポーツ大会で使用できなかった東部体育館を除く、26 箇所ですべて全市一斉に実施しております。</p> <p>次に、訓練項目・内容ですが、訓練開始の午前 9 時から午前 10 時 30 分を目安に、自主防災組織・町会など、地域住民が主体となる「地域住民初動訓練」、「地区対策支部設置・運営訓練」、「避難所開設・運営訓練」を市内一斉に実施しております。</p> <p>主な実施内容については、記載のとおりとなっております。</p> <p>なお、各避難所で訓練終了後に行ったアンケート結果では、2 年前に実施した、今回と同様の訓練に比べ、スムーズに出来たという意見が多くありました。</p> <p>6 ページをご覧ください。</p> <p>次に、総合防災訓練の目的の 1 つでもあり、今回初めて実施した、民生委員児童委員、高齢者相談員による避難行動要支援者の、安否確認訓練ですが、多くの皆様に参加していただき、記載の内容の訓練を実施することができました。</p> <p>また訓練終了後に行ったアンケートでは、初めて実施したこともあり、様々な意見等が上がっています。</p> <p>このことから、今後、内容を精査した上で、可能な限り現行のマニュアルに反映したいと考えています。</p> <p>そして、午前 10 時 30 分以降に実施した、独自訓練につきましては、避難所ごとに地区別防災カルテの被害想定を基に、災害伝言ダイヤル</p>

	<p>「171」、土のう設置、及び給水訓練など、地区にあった独自訓練を実施しております。</p> <p>また、独自の訓練実施にあたっては、関係機関の皆様の協力を得て実施しました。訓練に参加協力してくれました、習志野警察署、千葉県水道局、NTT東日本、陸上自衛隊第1空挺団、習志野市消防団・消防協力隊の皆様、ありがとうございました。</p> <p>次に、今回の防災訓練に併せて実施した訓練としましては、習志野市医師会、歯科医師会、薬剤師会、健康福祉センターが中心となり、災害医療本部及び4箇所の応急救護所を立ち上げる医療救護活動訓練を実施しております。</p> <p>なお、この訓練には、習志野市アマチュア無線クラブも参加し、通信訓練を実施しています。</p> <p>その他、保健福祉部による「福祉避難所の開設に係る机上訓練」を行っております。</p> <p>8ページをご覧ください。</p> <p>総合防災訓練以外に実施した「その他訓練」について、2つ報告いたします。</p> <p>1つ目は、「平成27年度水害対処訓練」です。</p> <p>近年、台風の大型化などによる、浸水被害などが、全国各地で発生していることから、昨年度の内水氾濫に続き、今年度は、高潮による被害を想定して、宮本市長を統裁官とし、庁内で特に関係する危機管理課、都市整備部、消防本部及び消防団が連携し、記載の内容で、図上訓練を実施しております。</p> <p>次に、「職員安否確認訓練」につきましては、災害時に迅速に職員の安否を確認することは、その後の災害対応を行う上で非常に重要であることから、携帯メールを活用した訓練を記載のとおり実施しています。</p> <p>それでは、ここで、「総合防災訓練」と「水害対処訓練」の模様を約14分間の映像にまとめましたので、御覧いただきたいと思っております。</p> <p>～～総合防災訓練及び水害対処訓練の映像上映～～</p> <p>以上で、「平成27年度に実施した各種防災訓練」の報告を終わります。</p>
<p>会長(市長)</p>	<p>それでは、報告第1号、2号、3号につきまして、御不明な点等がございましたらここで伺いさせていただきたいと考えておりますので、お願いいたします。何か、意見はございますでしょうか。</p>
<p>各委員</p>	<p>(質問等なし)</p>
<p>会長(市長)</p>	<p>それでは、無いようでございますので、また、のちほど、御意見をうかがう機会がございますので、次に進めさせていただきます。</p> <p>それでは、議案第1号「平成28年度習志野市総合防災訓練の実施方針(案)」について事務局より説明をお願いします。</p>
<p>事務局(課長)</p>	<p style="text-align: center;">議案第1号【資料に基づき事務局より説明】</p> <p>それでは、資料の9ページをご覧ください。</p>

	<p>議案第 1 号「平成 28 年度習志野市総合防災訓練の実施方針(案)」について、説明いたします。</p> <p>総合防災訓練につきましては、災害時における防災活動を円滑に行うため、毎年実施しています。</p> <p>また、実施にあたっては、被害想定を明確にし、市民、事業者、防災関係機関などが参加する実践的な訓練を行うこととしています。</p> <p>そこで、平成 28 年度の総合防災訓練は、市民の自助力の向上及び市民一人ひとりの防災意識の高揚を目的に、体験・展示型訓練を実施したいと考えております。</p> <p>また、幅広い年齢層の市民の皆様によく参加していただけるよう、関係機関などと連携し、イベント性なども有した内容とし、実施したいと考えています。</p> <p>次に、実施日ですが、平成 28 年 9 月 25 日、日曜日に開催する予定です。開催時間については、今のところ未定ですが、多くの市民の皆様が参加しやすい時間帯で開催したいと考えています。</p> <p>次に、訓練会場及び内容ですが、会場につきましては、市域を大きく東部・中央・西部に地区分けし、3 箇所程度をメイン会場とし、多くの市民の皆様が参加しやすくします。</p> <p>また、内容につきましては、先程説明しました、目的に沿った「市民の自助力の向上」及び「防災意識の高揚」が図れるような内容で実施したいと考えています。</p> <p>いずれにしましても、総合防災訓練につきましては、防災会議委員、皆様の御支援が必要となりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>次に、「総合防災訓練以外の個別訓練」につきましては、来年度につきましても、各種マニュアルなどを活用した、4 つの訓練を実施し、防災対策の強化を図りたいと考えています。</p> <p>なかでも、大規模災害時などに駅周辺で発生する帰宅困難者の対応訓練については、習志野市で直下型地震が起き、津田沼駅周辺で、多数の帰宅困難者が発生したという想定で、初めての実動訓練を 11 月に実施する予定です。</p> <p>なお、この訓練を実施する際には、本日出席されています、津田沼駅周辺帰宅困難者等対策協議会の委員でもあります、JR津田沼駅及び京成津田沼駅の協力が必要となりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>以上で、簡単ですが、「平成 28 年度習志野市総合防災訓練の実施方針(案)」についての説明を終わります。</p>
<p>会長(市長)</p>	<p>それでは、議案第 1 号の「平成 28 年度習志野市総合防災訓練の実施方針(案)」につきまして、御意見等いただきたいと考えております。</p> <p>まず、要点といたしましては、総合防災訓練の実施日、平成 28 年 9 月 25 日の日曜日に行くということ、訓練会場及び内容につきましては、市内 3 箇所程度をメイン会場として、展示及び体験型の訓練を実施するというので、これまでは展示型と体験型をそれぞれ分けて実施していたと</p>

	<p>ころですが、今回は展示型と体験型を併用して行うというところがございます。</p> <p>この機会でこういうことを要望しておきたいとか、こういうことを改善してほしいとか、そういったことにつきまして、御意見がございましたら、あげていただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>はい、松田委員、どうぞ。</p>
委員(習志野市男女共同参画審議会)	<p>イベント性や競技性と書いてありますが、これについて具体的なことは決まっているのでしょうか。</p>
会長(市長)	<p>はい、イベント性と競技性について、事務局からの説明をお願いいたします。</p>
事務局(課長)	<p>まず、イベント性と競技性ですが、同じような意味のものであると考えていただければよいのですが、いま考えているのは、個人や自主防災組織の皆様に参加していただきまして、土のうを作る競争だとか、トイレを組み立てる競争だとか、消火する競争だとか、体験をしていただくにも、競技性を持たせて、やっていただきたいと考えております。</p> <p>なお、詳細につきましては、これから煮詰めてまいりたいと考えております。</p>
委員兼事務局(習志野市危機管理監)	<p>事務局を監督している立場から、補足いたします。</p> <p>いま、担当の課長が言ったとおりなのですが、私たちの問題意識として、若い人、特に小さなお子様を持ったお父さんお母さん、この人たちが、いかに防災訓練に参加してもらえるか、という問題意識で考えております。</p> <p>そのために、子どもさんが参加しやすい形の、大声で叫んだ結果のホーンが画面に出るようなものだとか、また、お父さんお母さんの子どもさんの抱え方が非常に上手だとか、そういう風なことで、子どもさんが参加しやすい形にして、それに若いお父さんお母さんが参加してくれることが、一番狙いとするところです。</p> <p>そのためにも、1箇所を集めるよりも、地区ごとに会場を3箇所程度にしたほうが、集まりやすいのではないかと考えているものです。</p> <p>これから、皆様の意見を伺いながら、どのような形にするのがよいのか、詰めていくのですけれども、狙いはそういったことであり、来年度の訓練をこの議案のように実施したいと考えております。</p> <p>避難所開設については、ある程度出来るようなレベルになってきていることから、このような訓練を考えた次第です。</p> <p>以上です。</p>
会長(市長)	<p>とにかく、多くの方に体験していただきたいということから、このような形にしてあるということです。</p> <p>他に、何か御意見ございますでしょうか。</p> <p>はい、生巢委員どうぞ。</p>
委員(千葉県水)	<p>2番の総合防災訓練以外の個別訓練の中に、帰宅困難者対応訓練と</p>

道局船橋水道事務所)	ありますが、具体的にどのようなことを行うのでしょうか。
会長(市長)	それでは、事務局お願いいたします。
委員兼事務局(習志野市危機管理監)	<p>習志野市には、津田沼駅周辺帰宅困難者等対策協議会という33機関が入った協議会がございます。</p> <p>これは千葉県の中でも、大きな駅の周辺には対策協議会を作りなさいという県からの指導に基づいて、作っているものです。</p> <p>その中で、マニュアルが確実にできていて、帰宅困難者の一時滞在施設が指定されているのは、この津田沼駅周辺だけです。</p> <p>それで、松戸、船橋といったところでは、帰宅困難者対策の実働訓練を実施しています。ただ、それはマニュアルに基づいたものではありません。</p> <p>それで、今回、千葉県の方から、実動訓練をやってくれないかという打診がきたので、実施するものです。</p> <p>なお、具体的なことについては、これから帰宅困難者等対策協議会の中で決めますけれども、基本的には、駅周辺で、震災によって電車が止まり、そこで帰宅困難者が溢れ、そのまますぐに駅から出してしまうと混乱してしまいますので、一時滞在施設となる千葉工業大学、習志野文化ホール、ホテルメッツ津田沼の、これらの機関に開設について市から要請いたします。</p> <p>そして、各機関から各機関からの開設準備が出来たという連絡をもって、各駅に対して、では帰宅困難者を駅から出してください、ということ由市から伝えるわけです。</p> <p>それで、地域の人たちが、短い距離ですけれども、誘導をお願いしますということで、その誘導を担い、そして、帰宅困難者はそれぞれの一時滞在施設に行くという流れとなっています。</p> <p>そのあと、一時滞在施設で体調が悪いという人が出たというのを考えていますが、それを、一時滞在施設の中でも福祉的な役割を担う、ホテルメッツ津田沼に、関係者が協力して運んでいくという、一連の流れの訓練を実施したいと考えています。</p> <p>なお、これは来年度になって帰宅困難者等対策協議会の中で詰めたあと、具体的なやり方を決めることとなりますが、今現在は市としてはそのように考えているということです。</p> <p>以上です。</p>
会長(市長)	<p>帰宅困難者対応訓練については、帰宅困難者等対策協議会があり、そちらで具体的なことが決まるということでございます。</p> <p>他に、御意見等ございますでしょうか。</p> <p>はい、榎方委員、どうぞ。</p>
委員(習志野市薬剤師会)	災害医療本部と、避難所や一時滞在施設の間連絡体制はあるのでしょうか。避難所や一時滞在施設で具合が悪くなった方が発生した場合も想定しなければならないと考えましたので、質問いたしました。

会長(市長)	それでは事務局、お願いします。
委員兼事務局 (習志野市危機 管理監)	<p>帰宅困難者で、一時滞在施設において具合が悪くなった方が発生した場合には、市の防災行政無線で、連絡が入るようになっています。</p> <p>帰宅困難者等対策協議会の大きな特徴は、市の危機管理課が帰宅困難者に関する情報を一手に担うということです。</p> <p>当然、帰宅困難者が発生する状況では、災害対策本部が立ちあがっていますので、帰宅困難者対応だけではなく、市の災害対応を全てやらなければなりません。ですから、その一環として、帰宅困難者に関する情報は、市の災害対策本部に入るようになっています。</p> <p>なお、帰宅困難者等対策協議会の会長は私が務めており、市との一体化は図られていると御認識ください。</p>
委員(習志野市 薬剤師会)	そういった判断は、危機管理監の方で行われるということによろしいでしょうか。
委員兼事務局 (習志野市危機 管理監)	市長の指導を受けて決めたものを、それぞれの機関に流すということになります。
委員(習志野市 薬剤師会)	<p>東日本大震災の時は、電話が通じないことにより、避難所の情報が全く入手できず、3月の寒さの中、医師の派遣についても判断することが難しいということがありました。</p> <p>今後、そのようなことも念頭に入れていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
会長(市長)	他に、意見等ございますでしょうか。
各委員	(質問等なし)
会長(市長)	<p>ただいま、帰宅困難者に関する質問等があったことから、私の方から質問させていただきたいと考えております。</p> <p>この時期、大雪が心配されますけども、大雪に対する対応というのはどのようになっているのでしょうか。</p>
委員兼事務局 (習志野市危機 管理監)	<p>帰宅困難者については、基本的には震災をベースに作っております。</p> <p>ただ一昨年大雪の際に、京成電鉄が大雪の影響で運転見合わせとなり、電車の中で一夜を過ごすというお客様が発生する事態となりましたが、市として当時、何もできなかったという反省から、一時滞在施設としてサンロードの5階と6階を使えるような形にいたしました。</p> <p>また、帰宅困難者等対策協議会の方で、大雪を前提とした図上演習を昨年度に実施し、それぞれ大雪の時にはどのように対応するのかを検討して、それぞれ同じ意識に立っているというところです。</p> <p>暴風や大雨のような場合に止まることもありますが、ある程度の自然現象では、今は国や会社もできるだけ早く帰宅するように指導しており、突然発生する地震の方が、被害が大きいということで、基本的には地震を想定して作っているということです。</p> <p>以上、地震以外も想定して対応を実施しているという紹介となります。</p>

会長(市長)	他に、意見等ございますでしょうか。
各委員	(質問等なし)
会長(市長)	<p>それでは御意見等ございませんので、この議案につきまして、まず実施日については9月25日の日曜日に行くということで、訓練会場及び内容については、具体的な内容が決まりましたらまたお知らせをいたします。</p> <p>関係各所の皆様におかれましては、またこちらから協力要請をさせていただきますので、御対応の程、よろしく願いいたします。</p> <p>総合防災訓練以外の個別訓練については、4点の訓練を予定しております。</p> <p>これにつきましても、皆様には協力要請等をさせていただくことがあるかと思われませんが、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、実施案についてはこのようなかたちでよろしいでしょうか。</p>
各委員	(了承)
会長(市長)	<p>ありがとうございます。それでは原案のとおりに実施いたしますので、よろしく願いいたします。</p> <p>続きまして、議案第2号「習志野市地域防災計画の一部修正」について事務局より説明をお願いします。</p>
事務局(課長)	<p style="text-align: center;">議案第2号【資料に基づき事務局より説明】</p> <p>それでは、資料の10ページを御覧ください。</p> <p>議案第2号「習志野市地域防災計画の一部修正について」説明いたします。</p> <p>なお、修正につきましては、箇所数が多いことから会議終了後、全て事務局で行い、新しい計画書と差し替えますので、委員の皆様が、本日、修正する必要は、特にございません。</p> <p>そして、今回の修正については、4点あります。</p> <p>それでは、順を追って、説明いたします。</p> <p>1点目の「津波災害における体制等」の(1)は、津波注意報及び警報発表時の市の体制を変更するものです。</p> <p>現行計画では、津波注意報発表時には、配備体制がなく、津波警報で警戒配備、大津波警報で災害対策本部設置となっています。</p> <p>修正案は、津波注意報発表で警戒配備、津波警報及び大津波警報発表時には、災害対策本部設置に変更修正するものです。</p> <p>変更理由ですが、2つあります。</p> <p>1つ目は、昨年9月17日、南米のチリ沖を震源とする巨大地震が発生し、習志野市を含めた、東京湾内湾及び太平洋沿岸の広い範囲に、津波による影響が出るのが予想され、習志野市においても、津波注意報が発表された場合、情報収集体制をとると判断したこと。</p> <p>2つ目は、千葉県、及び近隣市である、千葉市、船橋市の津波体制を確認したところ津波注意報の発表で災害対策本部設置の直前の体制をとることとしております。</p>

そして、津波被害については、千葉市、船橋市からの、被害を受けることが予想されます。

この2つのことから、本市としても、より津波災害に対する体制の強化を図る必要があると認識したことから、修正案のとおり変更するものです。

次に(2)は、津波に関する情報が発表された時の避難の発令基準を変更するものです。

現行計画では、津波注意報が発表された場合、住民に対して、早めの避難を呼びかける避難準備情報を発令することと、なっております。

しかし、避難準備情報等を発令し、多くの住民に行動を求める場合、市長を本部長とする災害対策本部を設置する必要があります。

このことから、先程、説明しました体制の修正案と整合を図り、津波警報及び大津波警報が発表された場合に、避難準備情報を発令するよう、変更するものです。

資料の11ページをご覧ください。

2.「土砂災害警戒情報による避難所の開設」につきましては、現行計画の警戒配備体制では、危機管理課、全職員及び危機管理監が必要と認めた各部局の職員となっております。

今回の修正については、警戒配備体制に、土砂災害の避難所配備職員を追加するものです。

なお、土砂災害の避難所配備職員とは、土砂災害警戒情報が発表された場合に、開設する避難所、9箇所の配備職員です。

次に、変更理由ですが、昨年、9月9日に発表された大雨警報に土砂災害警戒が特記され、警戒配備体制をとっています。

この、大雨警報に土砂災害警戒が、特記された発表は、土砂災害警戒情報発表、直前の気象情報であり、土砂災害の危険性が非常に高まっている状態にあります。

このことから、土砂災害警戒情報が発表されたと同時に、避難所を開設し、より住民の安全を図るため、修正案のとおり、警戒配備体制に、土砂災害の避難所配備職員を追加変更するものです。

次に、3.「機構改革に伴う担当部署等の変更」につきましては、平成28年度の機構改革により、8部体制から6部体制になるなど、市全体の体制が変わります。

このことから、対策を担当する部署名を機構改革後の部署名に修正します。

最後に、4.「その他」につきましては、資料編の加筆修正になります。

主な加筆事項は、防災倉庫の設置、協定の締結及び新たに組織された自主防災組織などを追加します。

以上が、「習志野市地域防災計画」の修正になります。

御審議の程、よろしくお願いいたします。

<p>会長(市長)</p>	<p>それでは、議案第 2 号「習志野市地域防災計画の一部修正」について、御意見、御質問等がございましたらお願いいたします。</p> <p>はい、栗原委員どうぞ。</p>
<p>委員(習志野市 歯科医師会)</p>	<p>直接修正に係る部分ではないのですが、東京湾で津波が発生した場合には、どの程度津波はやってくるのでしょうか。また、過去に習志野市に津波による被害があったのでしょうか。</p>
<p>委員兼事務局 (習志野市危機 管理監)</p>	<p>津波に関して、少しまとめてお話したいと思います。</p> <p>東京湾は、内湾と外湾と区分されます。どのように区分するかと言いますと、横須賀の観音崎というところと富津岬、この間を結んだ線より北側が内湾、それ以外が外湾となっています。</p> <p>千葉県の調査として、内湾と外湾の境目の部分で高さ 10 メートルの津波を起こしたシミュレーションでは、約 1.3 メートルの津波がくることとなっています。東京湾は満潮と干潮の差が大きく、満潮の時には 1 メートル潮位が上がることから、最大 2.3 メートルの津波高なるという想定になっており、この津波が習志野市の海に接した部分に来る可能性があるという結果になっております。</p> <p>なお、この想定は東京湾の内湾で津波が起こった場合ですので、外湾で起こった場合にはこれほど大きな津波にはなりません。</p> <p>それに対して、習志野市の防波堤は 4.3 から 4.7 メートルぐらいあります。</p> <p>このことから、基本的には海側から津波が浸水するということはありません。</p> <p>過去の津波被害としては、大正時代の大津波というものがあります。</p> <p>その大津波は実際は台風接近に伴う高潮であり、現在の国道 14 号付近まで押し寄せました。</p> <p>高潮と津波の違いは、発生原因の違いであり、地震によるものか台風によるものかの違いです。</p> <p>このことから、基本的には津波についても、海側からくることはございませんが、想定外のこともあることから、津波避難ビルを指定しています。</p> <p>ただし、水は低いところへ進む性質があることから、船橋市側に浸水した水が、国道 14 号沿いに習志野市へ流れてくる可能性がございます。</p> <p>その関係で、今年度、水害対処訓練として高潮図上演習を行っております。また、他市の対応状況を確認することが非常に重要であることから、今回の地域防災計画の修正として、配備体制を修正することとしております。</p> <p>以上です。</p>
<p>会長(市長)</p>	<p>今回のチリ地震に係る津波注意報発表において、他の自治体で、津波の浸水を見越し、水門を閉めた結果、当時雨が降っていたことから川が堰き止められて溢れてしまったという事例もございます。</p> <p>そのように、各種情報を注視する必要があることから、今回は実態に即した配備体制に変更しようとするものでございます。</p>

	<p>それでは、その他、御質問等ございませんでしょうか。</p> <p>はい、生巢委員、どうぞ。</p>
委員(千葉県水道局船橋事務所)	<p>東日本大震災のときに、公用車で各種作業等を行っている際に、地域住民から駐車禁止であると通報されてしまったことがあります。</p> <p>警察の方へのお願いごとになりますが、水道局の車両も災害時の優先車として取り扱っていただけると非常にありがたいと考えております。</p>
委員兼事務局(習志野市危機管理監)	<p>貴重な意見ですので、できるだけそのようにできるように、広報を行う等、市民の意識啓発を図ってまいりたいと考えております。</p>
会長(市長)	<p>その他、御質問等ございませんでしょうか。</p> <p>はい、畑中委員、どうぞ。</p>
委員(前千葉工業大学教授)	<p>津波や高潮被害としては、他市から水が流れてくる想定があるということですが、それを考えると周辺の市との協議体制が必要となると考えますが、どのようになっているのでしょうか。</p>
会長(市長)	<p>それでは、事務局から回答をお願いします。</p>
委員兼事務局(習志野市危機管理監)	<p>そのために県にお願いをして、東京湾の内湾における浸水想定を詳細に行っていたら、県が主体となって想定を基に話し合いの機会を設けるように、依頼しております。</p> <p>それぞれの市とは、それぞれやりとりがありまして、13市の防災担当の課長が集まる会議もあり、それから葛南の5市での会議もありますので、その場で日常から意見交換をしております。</p>
会長(市長)	<p>私の方から、よく聞かれる質問として、一点質問させていただきます。</p> <p>土砂災害警戒情報につきまして、習志野市にはなかなか発表されないということがございますが、そのことの回答をお願いいたします。</p>
委員兼事務局(習志野市危機管理監)	<p>土砂災害警戒情報は、県と気象庁が協議を行ったうえで発表されるものであり、市が発表する情報ではありません。</p> <p>なお、発表にあたっては、降雨量と土の中にどの程度水が含まれているのか、またその土壌の性質を要素として、計算がなされ、機械的に発表されるものです。</p> <p>昨年8月の大雨では、大雨を降らせる雨雲がたまたま習志野市から外れていたために、習志野市だけ発表されないということがございました。</p>
会長(市長)	<p>他に、なにか御意見等ございますでしょうか。</p> <p>はい、櫛方委員どうぞ。</p>
委員(習志野市薬剤師会)	<p>習志野市は確かに、雨があまり降らないということがあると思います。</p> <p>これは、特に長い間地域に住んでいる方はよく思われることです。</p> <p>また、雨だけではなく、津波に関しても、過去に習志野にどこまで波が押し寄せた、という昔の話も残っていますので、そういった民間の情報も大事だと考えます。</p>
委員兼事務局(習志野市危機管理監)	<p>委員が仰ったように、確かに伝承というものは非常に重要であり、災害は同じところで発生するという特性があります。</p>

管理監)	<p>先日、谷津干潟の観察センターで大正時代の高潮災害の特集が行われており、その中で地元住民の声などの伝承も掲載されていました。</p> <p>そういったイベントが開催される際には、危機管理課から研修に行くことや、市民の皆様へ広報するなど、努めてまいりたいと考えております。</p>
委員(習志野市社会福祉協議会)	<p>袖ヶ浦地区では、海に近い地域であることから、海側から津波が押し寄せると信じている方が、今でも大勢いらっしゃいます。</p> <p>また、先ほど、津波や高潮の水は他市から内陸を流れてくる可能性があるということもありましたが、そういったことを今後、広くPRしていただきたいと考えますのでよろしくお願いいたします。</p>
事務局(課長)	出来る限り、周知してまいります。
会長(市長)	それでは、他に質問等はないようでございますので、議案のとおり、修正させていただきたいと考えておりますが、よろしいでしょうか。
各委員	(了承)
会長(市長)	<p>それでは、そのように修正いたします、ありがとうございました。</p> <p style="text-align: center;">4. その他</p> <p>これをもちまして、議事は終了となりますが、その他、事務局から何かございますか。</p>
事務局(課長)	特に、ありません。
会長(市長)	<p>それでは、ないということでございます。</p> <p>本日は、予定されていた時間が少し余っており、市役所以外の関係機関の皆様もせっかくお集まりいただいているこの機会ですので、本日の議事全般等、あるいはそれぞれの関係機関で周知や報告したいことがございましたら、各委員一言ずつで、よろしくお願いいたします。</p> <p>では、関東農政局千葉支局さんから、順番に、お願いいたします。</p>
委員(農林水産省関東農政局千葉支局)	<p>我々の組織は、従来は関東農政局千葉地域センターという名称でございましたが、昨年10月に組織変更がございまして、千葉支局というように名称が変更しております。</p> <p>ただし、緊急時の食料支援といった役割については変わっておりませんので、今後もしっかり対応してまいりたいと考えております。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p>
委員(千葉県習志野健康福祉センター)	<p>私共は、地域の公衆衛生を担う立場といたしまして、昨年度、発災後の3日間に対応する災害医療マニュアルを策定いたしました。</p> <p>また、いま現在、1週間分の対応に関するマニュアルも作成中であり、出来ました時点で発表させていただきますので、御協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
委員(千葉県習志野警察署)	千葉県警全体として、いま若い年代の職員が多く入ってきております。色々経験を積む意味も含めまして、こういった会議や訓練には積極的に参加したいと考えていますので、よろしくお願いいたします
委員(千葉県千葉土木事務所)	土木事務所の役割としては、道路や河川、急傾斜地を整備したり、管理を行う役割を担っております。

	<p>先ほど、土砂災害の話がありましたけども、土砂災害に関する情報が発表された時には、習志野市とも共に警戒の体制をとっております。</p> <p>習志野市は、急傾斜地や崖については箇所数が少ないことがあり、比較的、安心な土地であると認識しております。</p>
委員(千葉県葛南地域振興事務所)	<p>大規模災害が発生した際には、県には本部が立ちあがりますが、葛南地域振興事務所としても、習志野市も含めた管内の管轄として、災害対策本部が立ちあがります。</p> <p>このことから、今後も習志野市とは連携を深めてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
委員(千葉県水道局船橋水道事務所)	<p>本日の会議として感心しましたこととしては、受水槽への給水栓の取り付けが進んでいることがあります。</p> <p>他の自治体では案外進んでいないことであり、溜まっている水を使えないというのは非常に勿体ないことですので、今後も推進していただきたいと思います。</p>
委員(習志野市議会)	<p>議会では、昨年度、危機管理対応マニュアルを策定いたしました。</p> <p>発災後、議員がすぐに被災地に駆けつけることによって、それが却って復旧復興を阻害するという事案もあることから、情報に応じて対応の方法を考えてまいりたいと考えています。よろしくお願いいたします。</p>
委員(東京電力株式会社 千葉支社)	<p>高潮被害については憂慮しております、被害想定や復旧については、検討を重ねているところであります。</p> <p>それに関する訓練としても、止水版を設置する訓練を行っており、平素より対応を行っているところですので、よろしくお願いいたします。</p>
委員(陸上自衛隊第1空挺団第3普通科大隊)	<p>習志野市の地域防災計画でも記載しております、自衛隊の展開予定地や臨時ヘリポートの設置場所については、4月から5月にかけて、現地の確認をしたいと考えているところですので、その時には御協力をお願いいたします。</p>
委員(株)NTT東日本一南関東千葉西支店)	<p>NTTといたしましては、災害時の通信の確保はもとより、市民の皆様への安否確認に寄与したいと考えており、災害用伝言ダイヤルのサービスを行っているところです。</p> <p>昨年の市の総合防災訓練では、私どもは8箇所の避難所に職員を派遣しまして、市民の皆様へサービスを体験していただきました。</p> <p>このサービスは使ったとこない方も多く、繰り返し普段より使っていただき、慣れていただくことが重要だと考えております。</p> <p>今後、発災時や訓練時にも、よろしくお願いいたします。</p>
委員(習志野市消防団)	<p>今回、高潮の図上訓練に参加させていただき、大変勉強になりました。</p> <p>東日本大震災の時には、私は秋津出張所に詰めており、傍にある耐震性井戸付貯水槽で給水が行われていましたが、あまり水が綺麗ではなかったということを記憶しています。</p> <p>井戸は普段より運用していないと水が濁ってしまうことがあり、今回、谷津小学校の耐震性井戸付貯水槽が奏の柱に移動され、また、その近傍には将来的に谷津出張所が移転することとなっていることから、そちら</p>

	<p>の井戸では普段からしっかり運用し、井戸水を活用することが大事であると、消防に携わる立場の者としては感じております。</p>
委員(本大久保ホームタウン自治会自主防災会)	<p>我々の地域としては、火災のリスクが高いという特徴があります。その対策として、スタンドパイプを購入し、排水栓を活用した初期消火の訓練を行っており、消防や危機管理課の協力をいただいております。この訓練はデモンストレーションの効果が大変高く、訓練中に住民の方が集まってくることから、地域の防災意識の高揚につながっていると感じております。</p>
委員(元香澄地区自主防災組織連絡協議会)	<p>前回の防災会議で、地域における安否確認の方法については思案中と申し上げましたが、昨年、マグネットタイプの安否確認カードを作成いたしました。町内に配布を実施しました。そして昨年9月の総合防災訓練の際では、町内で87%の世帯が掲げたという結果が出まして、町内の防災意識の高さを確認いたしました。</p>
委員(習志野市連合町会連絡協議会)	<p>今月、NHKのニュースを視聴していたところ、Lアラートという言葉が初めて耳にしました。総務省が始めたシステムであり、災害に関する通知をテレビに出すものだそうです。習志野市でも導入しているものだと思いますが、どのような時に使えるシステムなのか、お聞きしたいと思っておりました。</p>
委員兼事務局(習志野市危機管理監)	<p>Lアラートは、大きな災害が発生した時にテレビに情報が流れるもので、習志野市でも関係する手続きは終えております。</p>
委員(前千葉工業大学教授)	<p>災害時の情報の取得としては、災害は同時多発的であり、あちこちから連絡が入ることから、情報の確認の作業は大変になると想定されます。そこで、今の時代、現場に居合わせた人たちがスマートフォンからあげた情報を用いることによって、正確かつ迅速に情報を獲得することができると考えます。もう既に取り組んでいることかもしれませんが、そのような情報をホームページに載せるなど、多様な情報の活用について検討していただきたいと考えております。</p>
委員(習志野市民生委員児童委員協議会)	<p>昨年の総合防災訓練では、初めて避難行動要支援者名簿を用いた訓練を行いました。やってみると色々な問題が出てきたため、それをこれから、検討材料としていきたいと考えております。また、安否確認として巡回している際に、手を貸さなければいけない人が居た場合、その手助けをすることによってその先の安否確認が進まなくなるといった問題もあり、今後は危機管理課や民生委員児童委員の災害研究委員会と、調整を行っていきたいと考えております。</p>
委員(習志野市男女共同参画審議会)	<p>2点ほどお伝えしたいことがございます。まず、1点目には、この防災会議には長い間、女性が入ることはありませんでしたが、最近では女性の委員も増えていることから、喜ばしいことと</p>

	<p>感じております。</p> <p>もう1点は、救急隊のことでございます。私自身は救急車のお世話になったことはないのですが、先日、近隣の方が体調を崩されて通報した際に、隊員の方々が当事者の急病人に、落ち着かせるように語りかけ、ご家族の方にも非常に適確に助言を与えられていたということがございまして、習志野市民として非常に安心感がありました。</p>
委員(東日本旅客鉄道(株)津田沼駅)	<p>前回の東日本大震災の時には、JRの対応として、コンコースを閉めるという対応をしまして、御批判をいただいたということがございます。</p> <p>私どもとしては、二次災害防止ための対応でしたが、結果的にはそのようになってしまったということで、現在、津田沼駅では上から物が落ちたりすることが無いよう、耐震化工事を行っているところであります。</p> <p>また、日々の取り組みといたしましては、駅構内の17の店舗も含め、避難誘導や消火器の扱いといった訓練を、毎年行っております。</p> <p>来年度は、市の個別訓練ということで帰宅困難者の訓練があるということですが、引き続き御指導等、よろしく願いいたします。</p>
委員(京成電鉄(株)津田沼駅)	<p>京成津田沼駅は、習志野市から補助をいただいて耐震工事を行っており、3月いっぱい完了する予定であり、現在の車掌区の方も壊さなければいけないということがございますので、全ての工事が終わるのは9月頃になる予定でございます。</p> <p>防災といたしましては、9月に震度6の地震が発生したという想定で、電車の一旦停止、あるいは、2分間の減速運転を実施しております。また、2年前の大雪を踏まえて12月には避難誘導の訓練を実施しております。</p> <p>今後も防災に関する取り組みを行ってまいりますので、よろしくお願いいたします。</p>
委員(習志野市歯科医師会)	<p>大規模災害時の歯科医師会の役割としましては、行方不明者の身元確認が大きな活動となり、遺体安置所ということで袖ヶ浦体育館において検死等の作業に携わることになります。</p> <p>しかし、そういった機会がやっとならないように、防災会議は、あくまでも防災のためのものとなるように、と思っております。</p>
委員(習志野市薬剤師会)	<p>一点、市民の方にお伝えしたいことがございます。</p> <p>お薬手帳は、必ず持参するようにはしていただきたいと思っております。</p> <p>災害時のためにすぐに持ち出せるようにまとめた荷物があるかと思いますが、そこに入れていただきたいと考えております。</p>
委員(習志野市社会福祉協議会)	<p>私どもは、平成27年度の災害ボランティアセンターの立ち上げ運営訓練を、2月14日の日曜日、午前9時30分から午後3時まで、総合福祉センターで行うこととしております。このセンターには県の内外の関係者がお集まりいただいて、訓練を実施いたします。</p> <p>実は、私どもの防災訓練は今年で8回目であり、昨年度は勤労会館でサテライトボランティアセンターを立ち上げまして、内陸部の色々な問題を扱う訓練を実施しました。</p>

	<p>東日本大震災は、たまたま、2回目の立ち上げ訓練が終ったあとでしたので、小学生からお年寄りまで、567名の多くのボランティアに参加いただき、3月14日にボランティアセンターの立ち上げが完了し、3月の末まで行うことができました。</p> <p>今年の訓練は3部構成で、1部が講演、2部が立ち上げ訓練、3部が運営訓練と実技体験となっております。</p> <p>災害はいつ、どこで、どういう状況で起こるかわかりませんので、毎年継続して訓練を行うことによりまして、様々な災害に対応できるようになると考えております。</p> <p>今後も継続してまいりたいと考えていますので、皆様方の御協力をよろしくお願いいたします。</p>
<p>委員兼事務局 (習志野市危機管理監)</p>	<p>少しでも市民の皆様が安全で安心して暮らすことができるように、私、それから課長以下、危機管理課の職員で一所懸命、行ってまいります。</p> <p>皆様と連携を取りながら、少しずつでも進めていき、継続していきたいと考えています。</p> <p>なお、畑中委員の仰った情報につきましては、現在検討しております。</p> <p>ただ、情報の正確性や信憑性の問題があり、情報の精査の方法や通信の混乱の対応等について検討をしているところですが、まだ道が見えないというところが正直なところです。</p> <p>皆様からいただいた御意見につきましては、出来るところから実施してまいりたいと考えていますので、引き続きよろしくお願いいたします。以上です。</p>
<p>会長(市長)</p>	<p>皆様、貴重な意見を賜りありがとうございました。</p> <p>先ほど、スマートフォンの情報の話もございましたが、ツイッター等を見ておりますと、仰る通り、色々な情報が獲得できて大変参考になることがございます。</p> <p>災害発生時には、鉄道に関する運行情報がよく目につきますが、防災に対する関心は高まっている最中であると感じているところです。</p> <p>本日、いただいた意見を踏まえまして、各種防災対策、防災訓練を具体的に計画してまいります。</p> <p>それでは、時間がまいりましたので、進行を事務局の方にお返しいたしまして、終わりしたいと思います。</p> <p>それでは、司会どうぞ。</p>
<p>事務局(司会)</p>	<p>長時間にわたり、御審議いただきありがとうございました。</p> <p>計画の修正作業につきましては、修正箇所が多数となっておりますので、本日は大きく体制が変更となった箇所のみ、差し替え資料として配布いたしますので、お手持ちの地域防災計画に併せてお持ちいただきますよう、よろしくお願いいたします。</p> <p>なお、年度が変わりましたら、全ての箇所に修正を施した冊子を、各委員の皆様へ改めて配布いたします。</p>

5. 閉会

以上を持ちまして、平成 27 年度習志野市防災会議を終了させていただきます。

本日は、誠にありがとうございました。